

科目名 (英)	メイクアップ総論Ⅲ Make upⅢ	年次	2	実務経験	担当	福島 裕司
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	メイクアップ科	単位	4	有	開講区分	前期
					曜日・時間	月曜日 3・4限
講師紹介	美容業界で23年以上関わってきました。CMや舞台、雑誌のヘアメイクなど、お客様のキレイの基準向上に取り組んでいる。セミナーや教育など様々な現場で美の提供をしながら活動している教員が、美容のスペシャリストを育成する為、美容知識、技術、経験の基礎と応用を習得する授業を行う。					
目的 科目概要	基礎のテクニックを再確認して、より高度なメイクテクニックを学ぶ また、イメージに合った仕上がりやメイクアップの色形質感などで変わるイメージの違いなどを学んでいきます。 自分の好きな世界感の撮影も行いうることができるようになる					
到達目標	仕上りのバランスやイメージに合わせたメイクを習得し対人で仕上げるができる。 メイクバランスも理解できることで、今後社会に出た後にもお客様へのヘアメイクの提案、アドバイスも出来るようになる 撮影企画も学び、作品を作ることができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（ ）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品 □ 提出課題					
教科書				事前事後 学習と その内容	講義、演習がメインとなる授業となる為遅刻欠席は出来るだけせず、復習をしっかりと授業に臨んで欲しい。 美容業界は流行の流れが速い為、常に雑誌やネットで情報を調べて予習しておく事。演習後は技術の復習をし、より確実に身に着ける事が望ましい。	
教材	メイク道具一式					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション・メイクイメージについて メイクアップ実習	今後の説明・メイクのイメージについて メイクテクニック確認 相モデル実習
2	イメージメイクアップ① メイクリズム①	メイクバランスについて理解してメイクアップできるようになる
3	イメージメイクアップ② メイクリズム②	メイクバランスについて理解してメイクアップできるようになる
4	イメージメイクアップ③ メイクリズム③	メイクバランスについて理解してメイクアップできるようになる
5	ファッションメイク 作品について	ファッション性のあるメイクアップを学び実習することが出来るようになる
6	作品づくり① 撮影について	作品づくりについて学び、オリジナルなメイクアップを考えることができる
7	中間試験 作品撮影	グループで作品撮影 デザインシートも作成
8	クリエイティブメイクアップ① ファッション系	ファッション性のあるメイクアップを学び実習することが出来るようになる
9	クリエイティブメイクアップ② アート系	想像力を養い、アートメイクを仕上げる事が出来る
10	クリエイティブメイクアップ③ アート系	想像力を養い、アートメイクを仕上げる事が出来る
11	シチュエーションメイク①	シチュエーションを設定してメイクアップで表現できるようになる
12	シチュエーションメイク②	シチュエーションを設定してメイクアップで表現できるようになる
13	作品作り 対策	オリジナルのメイクアップデザインを考え、練習することができる
14	定期試験 作品撮影	相モデルでヘアメイク(服装も)を行い撮影まで出来るようになる
15	まとめ 振り返り	作品鑑賞 前期の振り返り フルメイク復習を行う

科目名 (英)	ヘアメイクⅢ Hair make Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	伊藤 ヒトミ
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	メイクアップ科	単位	4	有	開講区分 曜日・時間	前期 火曜日 1, 2限
講師紹介	ヘアメイクとして長いキャリアを持つ現役のヘアメイクが分かりやすく美容の職業をするうえで役に立つ知識やテクニックをレクチャーするので積極的に学んでほしい。					
目的 科目概要	ヘア技術の基本技術を知り、ヘアの商材の役割と用途から、髪の扱いとスタイルの出し方を知りアドバイス力を培う					
到達目標	セルフアレンジができるようになり、ファッションやブランド、顔の形に合わせてのヘアスタイル提案と 髪質からのセット材の付け方やチョイスができるようになる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験 ■実技試験 □ 作品 □提出課題					
教科書	なし			事前事後 学習と その内容	ヘアアイロンを使おう。セット材の意味を知ろう。自分自身を良く見せられる方法を知り意識を高めよう！	
教材	メイクアップ道具 ヘア道具一式					
特記事項	セルフアレンジ、相モデルの実践の日はヘアセット材をつけてこないこと。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	ストレートアイロンの使い方	ストレートアイロンの使い方を学ぶ(ストレート、カール、波巻き)
2	ストレートアイロンを使った前髪、後れ毛アレンジ	セルフアレンジ&相モデル
3	ストレートアイロンを使ったアレンジ	ストレートアイロンでの巻きから、編み込みをいれたハーフアップをつくる
4	セルフアレンジの実践	ストレートアイロン、コテを使い、セルフアレンジ。クルリンパや、編み込みを使ったアップヘア
5	相モデルでの実践	セルフアレンジからの相モデルでの実践、髪質によるセット剤の違いも学ぶ
6	中間試験対策	アドバイス力もふまえながらの、ヘアアレンジの実践
7	中間試験	アドバイス力をふまえながらの、ヘアアレンジの実践テスト
8	ブランド別ヘアメイク	様々なブランドの特徴を知り、ブランドイメージに合わせたメイクからのヘアスタイル提案
9	ヘアメイクイメージ提案	ファッションからのイメージづくり、メイクとあわせてヘアスタイルの提案
10	イメージ別ヘアメイク 正統派、クール、モード系	正統派、クール、モードのヘアメイク を学び実践する(セルフヘアメイク)
11	イメージ別ヘアメイク 正統派、クール、モード系	正統派、クール、モードのヘアメイク を学び実践する(アドバイスを踏まえて)
12	イメージ別ヘアメイク キュート、ナチュラル	キュート、ナチュラル系のヘアメイク を学び相モデルで実践(セルフヘアメイク)
13	イメージ別ヘアメイク キュート、ナチュラル	正統派、クール、モードのヘアメイク を学び相モデルで実践(アドバイスを踏まえて)
14	定期試験対策	ブランドイメージを決めてコンセプトシートの記入、練習
15	定期試験	トータルコーディネートを時間内にイメージを作り、撮影をして提出

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅲ Career Development Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	福田 美幸
		授業形態	講義			
学科・専攻	メイクアップ科	時間数	30	有	開講区分	前期
		単位	2		曜日・時間	水曜日 3限
講師紹介	ドレスコーディネーターとしてブライダル業界で勤務。業界経験を生かして、美容業界で必要とされるための知識、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。					
目的 科目概要	グループワークや個人ワークでの自己分析、チームで働くことの大切さを学び社会人基礎力に必要な3つの能力【前に踏み出す力】【考え抜く力】【チームで働く力】を身に付ける。またプロになるために必要な自己管理、身構え、気構え、心構えを身につける。					
到達目標	①自己発見を行い、希望就職先への内定に繋げる。 ②笑顔であいさつができるようになり、接客に必要な身構え・気構え・心構えを身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □実技試験 □ 作品 □提出課題					
教科書	なし			事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。	
教材	スケジュール帳・筆記用具・iPad					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる(メモを取る習慣を身につけましょう)					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	MU科の5つのルール インターネットマナーについて	MU科の5つのルールを確認し、意識をつける。 インターネットマナーを学び、ITリテラシーについて再度確認する。 自己分析をする。
2	個人とクラスの目標	目標についてどのように取り組むか、自分たちで決める。
3	就職対策①	就職活動の基礎を知り、希望就職先を見つけることが出来る。
4	就職対策②	履歴書の重要性を知り、ライバルに勝てる履歴書が書けるようになる。
5	就職対策③	面接の基本やポイントを知り、面接で自信を持てるようになる。
6	就職対策④	模擬面接:4人1組で(面接官役・受験者役)にわかれて模擬面接をチームで行う。
7	中間試験	中間試験(1～6回目のまとめ)
8	グループワーク	グループワークで社会人基礎力【考える力】を身につける
9	グループディスカッション	グループディスカッションで自分の立ち位置を学ぶ。 どうすれば印象に残せるか学ぶ。
10	社会人基礎力を身につける①	社会人としての言葉使いを覚える。敬語・丁寧語を正しく学ぶ。
11	社会人基礎力を身につける②	伝える力を学ぶ。
12	グループワーク	グループワークで社会人基礎力【チームで働く力】を身につける
13	ストレスについて考える	ストレスを軽減するためにはどのような行動が必要かを個人で考え、チームで共有する。
14	振り返り	5年後、10年後のビジョンについて考える。考えたことを全体で共有する。
15	定期試験	定期試験(8～14回目のまとめ)

科目名 (英)	接客マナー Customer Service	年次	2	実務経験	担当	石田 智子
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	メイクアップ科	単位	4	有	開講区分	前期
					曜日・時間	木曜日 3, 4限
講師紹介	百貨店などさまざまな接客サービスの現場を経験後、専門学校講師として「おもてなし」「コミュニケーション」の講義を担当。。接客サービスの現場ですぐに役立つ「サービス接客検定」の内容を実際の現場経験を交えて講義を行う。検定合格に向けて、効果的な学び方を用いて授業を行うので積極的に参加すること。					
目的 科目概要	社会人に求められる、一般常識やマナーについての基礎知識を「サービス接客検定3級」テキストで学び、人間力を高め、お客さまやチームメイトからも信頼、指名される接客能力を身につける。					
到達目標	サービス接客検定3級に合格を目指す。 社会人としてのビジネス文書(手紙・はがき・メール作成)のマナーを学び、定期試験において実例問題を解くことができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■筆記試験 □実技試験 □ 作品 □提出課題					
教科書	サービス接客検定 準1級2級3級テキスト&問題集			事前事後 学習と その内容	サービス接客3級過去問題は、授業内だけでなく積極的に取り組むこと	
教材						
特記事項	就職活動実務、社会的スキル(ビジネスマナー等)は、ロールプレイやグループワークも行うので、積極的に参加すること					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	科目オリエンテーション	科目オリエンテーション／就職活動実務①(履歴書送付注意事項、送付状作成、電話対応)
2	就職活動実務②	お礼状の書き方、名刺交換、電話対応など
3	サービス接客検定対策①	I サービススタッフの資質／II 専門知識
4	サービス接客検定対策②	III 一般知識／IV 対人技能①
5	サービス接客検定対策③	IV 対人技能②／V 実務技能
6	サービス接客検定過去問題／中間試験	サービス接客検定直前対策／中間試験実施
7	科目オリエンテーション(第8回～定期試験)	サービス接客検定3級受験後の授業の進め方(シラバス確認)と定期試験範囲の確認
8	ビジネスマナー①挨拶・返事	マナーの5つの基本原則・ビジネスシーンにおける挨拶・返事
9	ビジネスマナー②応対・訪問	来客応対・訪問の心得
10	ビジネスマナー③電話対応	電話対応の基本常識・受け方、かけ方・取り次ぎ方・携帯電話のマナー
11	ビジネス文書①	文書作成の基本(社内文書・社外文書・手紙、はがきなど)
12	ビジネス文書②	Eメール、ファックス、SNSについてルールとマナー
13	金品管理実務／慶弔マナー	金品管理(領収書についての基礎知識など)・慶弔マナー
14	ユニバーサルサービス	お手伝いが必要なお客さまへの対応について
15	まとめ、定期試験対策／定期試験	定期試験に合格する

科目名 (英)	ブランド研究Ⅱ Brand ResearchⅡ	年次	2	実務経験	担当	古藤 真央
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	メイクアップ科	単位	4	有	開講区分	前期
					曜日・時間	金曜日 1, 2限
講師紹介	原宿にあるベルエポック美容専門学校卒。ELCジャパン(株)M.A.Cに13年勤務。リテールマネージャーとして、店舗運営や部下育成に従事。					
目的 科目概要	プチプラからデパートコスメのブランド概要、トレンドのスキンケアやフレグランスなど最新の美容情報の共有。正しいSNSのUP方法を知る。					
到達目標	それぞれのメイクブランドのヒーローアイテム、歴史などを深掘りし、業界のことをさらに知ることができる。SNSでコスメ宣伝をする際の注意事項を学び、正しい加工技術や写真の撮り方ができるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■実技試験 □ 作品 □提出課題					
教科書				事前事後 学習と その内容	いろんなブランドに興味をもち、実際に接客を受けてみる。	
教材						
特記事項	ipadを毎回使用します。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	自己紹介／ブランドが好きな人の系統を探る	自分の好きなブランドを発表。ファッション、ネイルもMIXし、ブランドの特徴を調べ、カラーージュして発表。
2	資生堂、カネボウグループを調べる	資生堂、カネボウグループをグループワークで発表。
3	コーセーブランドを調べる／デパコス	コーセーグループを調べる。国産ブランドのコスメを触ってみて発表。
4	国産ブランドのインスタグラムを研究	スキンケアブランド、メイクブランドの違い。
5	LVMH／ロレアル／エスティローダー	ブランド調べて発表。外資系デパコスに触ってみる。国産と違うところは？
6	プチプラブランド／インスタ研究	プチプラコスメの良さ、インスタの研究。デパコスとの違い。
7	中間試験	1～6週目までの内容の確認
8	外資系ブランドのインスタグラムを研究／フレグランス	スキンケアブランド、メイクブランドの違い。フレグランスに触れる。今までのブランドまとめ。
9	雑誌を読んでみる	雑誌のメリット、デメリット。ネットのメリット、デメリット。違いを研究。
10	韓国コスメ／魅力的なインスタ写真	顔、マクロ、スウォッチ、物撮り。写真を撮ってみる。韓国コスメを研究。
11	画像、動画の撮影	見て楽しくなるような、欲しくなるような写真をグループで撮り合う。
12	写真の加工、写り方の研究	キレイに見えるシミ取り加工の仕方。好きなインスタ画像を真似てやってみる。
13	スウォッチを腕に体験／文章の構成	カラーがわかるスウォッチを腕に体験。サウンドバイトを知る。欲しくなるような文章を考える。
14	定期試験のプレゼンまとめ。写真の準備	試験の事前準備。
15	定期試験	前期授業内容の確認

科目名 (英)	トータルメイク Total Make up	年次	2	実務経験	担当	古藤 真央
		授業形態	演習			
学科・専攻	メイクアップ科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	金曜日 3,4限
講師紹介	原宿にあるベルエポック美容専門学校卒。ELCジャパン(株)M.A.Cに13年勤務。リテールマネージャーとして、店舗運営や部下育成に従事。					
目的 科目概要	お客様のイメージや要望に合わせたメイクの提案と施術を学ぶ。提案力、接客力をロールプレイを交えて学ぶ。					
到達目標	お客様の要望に、的確なアドバイスができるコンサルティング力を養いながら、イメージ通りのメイクが出来るようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C(2.0)、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（ ）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 □筆記試験 ■実技試験 □ 作品 □提出課題					
教科書				事前事後 学習と その内容	百貨店のカウンターに足を運び、プロの接客を肌で感じてみる機会を増やす。	
教材	学校支給の教材。					
特記事項	授業中はモデルにも敬語で話す。エプロンと名札着用で臨む。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	ロールプレイの心得	店頭さながらの接客が出来るように、心得を学ぶ。モデルの顔立ちにあったメイク。
2	スプリングメイク	自分に合った春メイクを提案してほしいお客様への対応。肌に合ったカラーの選び方。
3	外国人風ホリ深メイク	立体感が出るアイシャドウや肌づくり。アイブロウの毛並みのづくり方。
4	カラーメイク	使ったことのないカラーに挑戦したい方への提案の仕方。色のイメージの伝え方。
5	デパコスメイク	教材のデパコスを使用して、キレイめな大人メイク。
6	スモーキーメイク	くすませたカラーでクールメイクしたい方への対応。グラデーションの基本。
7	中間試験	1～6週目までの内容の確認
8	タッチアップメイクに挑戦／DIORブラシ実践	部分的クレンジングを覚え、実際に店頭にお越しになったお客様に行うメイク方法を知る。教材のDIORブラシを使用してみる。
9	肌に合ったFDのおすすめ方法	難しいFDカウンセリングの内容を知り、それに合わせたポイントメイクまでの流れを実践。
10	アイメイクタッチアップ～イメチェン	お客様のイメージをガラリと変えるアイシャドウののせ方ロープレ＆ポイントメイク。
11	カットクリースメイク	カットクリースを用い、大胆なイメチェンを要望の方に行うメイクロープレ。
12	チーク、コントアー、リップメイク	お客様の骨格のいい所を伸ばし、欠点をカバーする入れ方を勉強する。
13	ご要望タッチアップフルメイク①	モデルにはこちらで用意したお客様を演じてもらい、それに沿ったメイクが出来るか実践
14	ご要望タッチアップフルメイク②	モデルにはこちらで用意したお客様を演じてもらい、それに沿ったメイクが出来るか実践
15	定期試験	前期授業内容の確認

科目名 (英)	トレンドメイクⅡ Trendy Makeup Ⅱ	年次	2	実務経験	担当	高岸 裕一(CAA)
		授業形態	講義			
		時間数	60			
学科・専攻	メイクアップ科	単位	4	有	開講区分	前期
					曜日・時間	水曜日 1, 2限
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。					
目的 科目概要	トレンドメイクの授業では、最新のトレンドに沿ったメイクアップ技術やアイデアを習得し、高品質なトレンドメイクを創り出すことが目的です。 化粧品販売員検定シルバー 最新の化粧品学・皮膚理論・カウンセリングを学ぶ。					
到達目標	ファッショントレンドメイクやフォトジェニックメイクなど、多様な技術やスタイルに触れ、自分のスキルを高めることも重要です。メイクアップアーティストとして活躍するために必要な技術やスキルを磨き、自分の個性を発揮することが求められます。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■実技試験 □ 作品 □提出課題					
教科書	CAAメイクアップカラーアドバイザー公式テキスト			事前事後 学習と その内容	実技授業の場合、授業前にメイクセッティングをして下さい。授業後は全員で消毒と清掃を行います。ブラシ・パフは毎回洗浄して下さい。	
教材						
特記事項	課題にてテーマ別のメイクアップ画像提出					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	化粧品販売員検定シルバー:化粧品学①	化粧品とは、薬機法、効能効果、薬用化粧品、構成成分の理解と説明ができる。
2	化粧品販売員検定シルバー:化粧品学②	全成分表示、美容成分、メラニンのメカニズム、美白成分、薬用化粧品の有効成分、品質向上、安定化成分の理解と説明ができる。成分解説ができる。
3	化粧品販売員検定シルバー:皮膚科学①	皮膚とは、表皮・真皮、皮膚付属器官の理解と説明ができる
4	化粧品販売員検定シルバー:皮膚科学②	爪、まつ毛、皮下組織、役割、季節と肌までの理解と説明ができる。
5	化粧品販売員検定シルバー:スキンケアカウンセリング	スキントypes、皮膚のトラブル、スキンケアカウンセリングまでの理解と説明ができる。
6	化粧品販売員検定シルバー中間試験対策	ブロンズ模擬テスト 8割以上の正解
7	化粧品販売員検定シルバー中間試験	化粧品販売員検定シルバー中間試験
8	ファッショントレンドメイク①	①色彩学 4シーズンカラー スプリングの特徴を理解しメイクを習得する。
9	ファッショントレンドメイク②	②色彩学 4シーズンカラー サマーの特徴を理解しメイクを習得する。
10	ファッショントレンドメイク③	③色彩学 4シーズンカラー オータムの特徴を理解しメイクを習得する。
11	ファッショントレンドメイク④	④色彩学 4シーズンカラー ウィンターの特徴を理解しメイクを習得する。
12	ビューティトレンドメイク	美容トレンドに合わせたメイクアップ技術、アイデア、色彩感覚を習得する。
13	フォトジェニックメイク	写真映えするメイクアップ技術、アイデア、色彩感覚の習得を目的とした科目です。
14	期末試験対策:4シーズンカラー	ファッショントレンドに合わせたメイクを練習する。
15	期末試験:4シーズンカラー	実技試験: パーソナルカラーで40分フルメイク ファッショントレンドに合わせたトレンドメイク

科目名 (英)	スキンケアカウンセリングⅡ Beauty CounselingⅡ	年次	2	実務経験	担当	峯崎 千恵美
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	メイクアップ科	単位	4	有	開講区分 曜日・時間	前期 木曜 1, 2限
講師紹介	国内外のエステサロンで勤務経験を積み、10年以上専門学校で指導してきた教員がコスメマイスター検定に必要な知識を分かりやすく教える。普段のセルフトリートメントにもその知識を活かしてほしい。					
目的 科目概要	目的:コスメマイスター検定対策に向け知識を身につける。またフェイシャルトリートメントをするための技術とカウンセリングを学ぶ。 概要:コスメマイスター筆記対策、ディープクレンジング、機器トリートメント、パック、カウンセリングを行うための理論と技術を学ぶ。					
到達目標	・日本コスメティック協会のコスメマイスター検定に合格する ・お客様の肌の状態を正確に観察し、目的に合ったトリートメント内容を組み立てられる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C(2.0)、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（ ）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 □筆記試験 ■実技試験 □ 作品 □提出課題					
教科書	コスメティック協会検定テキスト コスメQ＆A			事前事後 学習と その内容	事前にコマシラバスを確認し、忘れ物をしない。 授業内容は必ず復習し、理解した上で次の授業に参加すること。	
教材	プリント適宜配布					
特記事項	配布資料はファイルにまとめ毎授業持参すること。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	科目の概要説明 検定テキスト【Q1～12】 フェイシャルトリートメントの流れと目的	この授業の進め方、 【検定対策】化粧品定義と法律 フェイシャルケアの種類や流れを把握する
2	検定テキスト【Q13～23】 ディープクレンジング(吸引)	【検定対策】スキンケア化粧品の目的や種類について 吸引の効果、禁忌事項、注意事項、手順を理解する
3	検定テキスト【Q24～36】 ディープクレンジング(酵素)	【検定対策】化粧水、美容液、クリーム、マッサージ、パックについて 酵素の効果、禁忌事項、注意事項、手順を理解する
4	検定テキスト【Q37～42】 ディープクレンジング(ゴマージュ)	【検定対策】メイクアップ化粧品について ゴマージュの効果、禁忌事項、注意事項、手順を理解する
5	検定テキスト【Q43～52】 機器トリートメント(イオン導入)	【検定対策】化粧品原料について(油性原料) イオン導入の効果、禁忌事項、注意事項、導入液の種類、手順を理解する
6	検定テキスト【Q53～62】 機器トリートメント(パター)	【検定対策】化粧品原料について(有効成分) パターの効果、禁忌事項、注意事項、リンパの知識、手順を理解する
7	中間試験	1～6回までの授業の理解度を確認する
8	検定テキスト【Q63～72】 フェイシャルパック	【検定対策】化粧品原料について(界面活性剤) モデルに合ったパックを選択し、均一に塗布し正確に除去する
9	検定テキスト【Q73～80】 皮膚の観察の仕方	【検定対策】化粧品原料について(品質保持剤) モデルの肌タイプや肌トラブルを見分ける
10	検定テキスト【Q81～91】 シート記入の仕方	【検定対策】皮膚の構造と役割(表皮、真皮、皮下組織) モデルに適したトリートメントプランを立て、シートに記入する
11	検定テキスト【Q92～105】 ホームケアアドバイスの仕方	【検定対策】美しい肌の条件、肌タイプについて 適したブランド化粧品の提供やホームケアアドバイスを行う
12	検定テキスト【Q106～120】 カウンセリングと施術	【検定対策】肌トラブルについて(乾燥、紫外線) モデルのカウンセリングをし、効果的な施術を行う
13	検定テキスト【Q121～133】 カウンセリングと施術	【検定対策】肌トラブルについて(くすみ、クマ、シワ、たるみ、ニキビ) モデルのカウンセリングをし、効果的な施術を行う
14	定期試験	これまでの授業の理解度を確認する
15	コスメマイスター検定試験	日本コスメティック協会検定コスメマイスター試験

科目名 (英)	ファッション総合Ⅱ (パーソナルカラー2級&ネイルアート)	年次	2	実務経験	担当	堀川 彩里／殿村 雅子
	fashion Ⅱ (Personal Color&Nail Art)	授業形態	演習			
	学科・専攻	メイクアップ科	時間数	60	有	開講区分
		単位	4	曜日・時間		水曜日1, 2限
講師紹介	(堀川) 色彩活用パーソナルカラー検定講師、文部科学省後援色彩検定協会認定色彩講師として、美容・ファッション・メイク等各分野の企業や学校にてパーソナルカラー検定や色彩講義を担当。「人」に使える色(似合う色・コーディネート)について、色の効果を体感して楽しみながら学べるようにお伝えします。皆さんで合格を目指しましょう。 (殿村) 木下ユミメイクアップ&ネイルアトリエ所属講師 殿村雅子					
目的 科目概要	似合う色による「自分ブランディング」をアドバイスし提案できるよう、“パーソナルカラー活用アドバイザー”として、パーソナルカラーについて色や色素の特徴を理論的に分析することを学んだり、アドバイス方法等を習得する。 1年で学んだ技術をベースに、さらにファッションに合わせたネイルやトレンドを意識したネイルが制作できるよう基礎技術を固める。					
到達目標	・他者に対して色素をもとに「似合う色の選び方」「似合う色の活用方法」などアドバイスや提案ができるようになる。 ・色彩活用パーソナルカラー検定2級(2023年度夏季)合格を目指す。 ・1年間で学んだジェルアートの技術の復習をして完成度をあげ、さらに高度なアートの習得を目指す。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □実技試験 □ 作品 ■提出課題					
教科書	色彩活用パーソナルカラー検定3級&2級 公式テキスト・問題集			事前事後 学習と その内容	授業の進行に合わせて、課題の予習・復習、問題集、プリントの課題を実施する。	
教材	新配色カード199、トーン/マップケアカラー道具、アート道具					
特記事項	はさみ、のり、筆記用具を持参してください。3級の時の教材だったテキスト、問題集、カラーカード、トーンマップを持参してください。色鉛筆を使用する授業もあります。 毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧にとる事。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション 色彩学とパーソナルカラー①(PCCS、トーン)	・パーソナルカラー活用アドバイザーとはなにか2級の概要を理解する ・パーソナルカラーシステム(3級の復習) ・PCCSを使って、色を表現(伝えられる)ようにする、PCCSを使った4シーズン別ネイルデザインカラー演習
2	配色技法とパーソナルカラーへの活用①	・配色理論に基づき、似合う色でのカラーコーディネート方法をマスターする(色相配色とトーン配色、4シーズン別のカラーコーディネート)。学んだ配色法でファッションカラーコーディネート演習を行なう。
3	配色技法とパーソナルカラーへの活用②	・配色理論に基づき、似合う色でのカラーコーディネート方法をマスターする(ドミナント配色、グラデーション配色、トーンオントーン配色、アクセントカラー)
4	色彩学とパーソナルカラー②(心理的效果と視覚的效果)	・色の心理的效果を活用する、対比と同化効果についてパーソナルカラーにおける色の見え方を理解する ・慣用色名を使ってパーソナルカラーの色をわかりやすく表現する
5	クライアントを中心にしたアドバイス 色素のアドバイス	・パーソナルカラーアドバイザーとしての手順、クライアントの好きな色と似合う色が異なる場合の対応など様々なケースの対応について学ぶ ・似合う色がわかりにくい色素などの見方、肌トラブルや日焼けなどのアドバイステクニック
6	三属性に基づくドレーピング方法 パーソナルカラー診断の復習 【中間試験】	・似合う色を「三属性」でとらえる(ドレープを使用しながら三属性を理解する) ・似合う属性ごとの色の見え方について、色素傾向を元に整理する ・ドレープの色の变化とそれに伴う顔映りの変化について
7	似合う色の取り入れ方	・4シーズンそれぞれに似合うファッション、ネイル、メイク、ブライダル編など様々なアイテムへの活用法をアドバイスできる知識を習得する。4シーズンシート作成
8	色彩学とパーソナルカラー③(色の見え方・混色・色名)	・色の見え方と混色の種類と活用(髪の色素と混色の関係、印刷物やテレビやSNSなどの画面の色再現のしくみ) ・JIS系統色名を使ってパーソナルカラーの色をわかりやすく表現する
9	検定対策①	・検定出題傾向と実技問題の解き方(三属性に基づくドレーピング方法、ブライダルカラーのアドバイス等) ・これまでに学んだ内容について、検定出題傾向に基づき要点を復習する
10	検定対策② 【定期試験】	・過去問題を例に、出題形式や出題傾向に慣れる ・過去問題実施
11	ジェルアート復習	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ラメグラデーション、カラーグラデーションの復習。相モデル 【履修確認】小テスト2点
12	ジェルアートを覚える①	【授業形態】講義・実習 【到達目標】デモンストレーション。フレンチ。相モデルトレーニング 【履修確認】小テスト2点
13	ジェルアートを覚える②	【授業形態】講義・実習 【到達目標】デモンストレーション。縦グラデ、アンギュラーブラシを使ったアート。チップトレーニング【履修確認】小テスト2点
14	ジェルアートを覚える③	【授業形態】講義・実習 【到達目標】デモンストレーション。レース、キルティング、アニマル柄(ヒョウ、ゼブラ)など。チップトレーニング。【履修確認】小テスト2点
15	中間試験	【授業形態】実習 【到達目標】ジェルアート 【履修確認】中間試験20点

科目名 (英)	ファッション総合Ⅲ Fashion Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	工藤 亮子
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	メイクアップ科	単位	4	有	開講区分	前期
					曜日・時間	木曜日 1・2限
講師紹介	イメージコンサルタントとして起業して14年目。NYのFashion Institute Technology (FIT)での専門的な学びを活かし、独自のコンサルティングスタイルを確立。経営者、芸能人、文化人のイメージ戦略、自分らしく生きたい女性の魅せ方まで、幅広く支援している。NHKあさイチをはじめ、メディア出演掲載、日本橋三越、銀座三越、阪急メンズ、大丸東京など百貨店でのトークイベント、スタイリングイベントの実績多数。					
目的 科目概要	一年次に習得したファッション知識・技術を元に、実習室を使用して応用力を身に着ける。 マネキンコーディネートやショッパを想定して動きのある授業で学ぶ。					
到達目標	ファッション知識・技術を身につけ、ファッション業界、美容業界での実務に活かせるスタイリング力、コンサルティング力、コミュニケーション力を習得する。 ホスピタリティをもった接客ができるビューティアドバイザー、ファッションアドバイザーなど業界で即戦力となることを目標とする。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■実技試験 □ 作品 ■提出課題					
教科書	「基礎からわかるパーソナルスタイリング」日本パーソナルスタイリング振興協会 著			事前事後 学習と その内容	復習: TOPSSテキスト 宿題: スタイリング提案	
教材	骨格診断テキスト、スタイリング実践テキスト					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション コーディネートの基本「色」	・授業の内容、進め方、概要説明 ・コーディネートの基本「色」
2	パーソナルカラーとコーディネート	・パーソナルカラー実習 ・パーソナルカラー別コーディネート、撮影
3	ファッションとヘアメイクの関係	・ファッションとヘアメイクの関係 ・ファッションに合わせたヘアメイク実習
4	コーディネートの基本「イメージ」「アイテム」	・コーディネートの基本「イメージ」「アイテム」 ・マネキンコーディネート
5	骨格診断とファッションとブランド	・骨格診断実習 ・タイプ別アイテム分け&コーディネート実践
6	顔診断とファッションとブランド	・顔診断実習 ・タイプ別マップ作成
7	中間試験	・筆記試験 ・コーディネート実技
8	メンズファッションとヘアメイク	・メンズファッションコーディネート ・メンズメイク
9	TPO別コーディネート	・TPO別コーディネート ・小物、ヘアスタイル、メイク
10	ドレスコーディネート	・ドレスコーディネート ・ドレスに合わせたヘアメイク実習
11	ブランド研究 ファッション・メイク	・なりたいイメージ別 ブランド研究
12	ファッションアドバイザー・パーソナルスタイリストへの道①	・ショッピング同行事前準備 ・ショッパ側から見る世界、お客様側から見る世界
13	ファッションアドバイザー・パーソナルスタイリストへの道②	・ショッピング同行実習、似合うコーディネート、スタイリング提案
14	今までの振り返り	・おさらい ・試験対策
15	定期試験	・筆記試験 ・コーディネート実技

科目名 (英)	デザイントレーニング design training	年次	2	実務経験	担当	古藤 真央
		授業形態	講義			
		時間数	60			
学科・専攻	メイクアップ科	単位	4	有	開講区分 曜日・時間	後期 月曜日 1, 2限
講師紹介	原宿にあるベルエポック美容専門学校卒。ELCジャパン(株)M.A.Cに13年勤務。リテールマネージャーとして、店舗運営や部下育成に従事。					
目的 科目概要	時代やコンセプトに合わせて、メイクをデザインできる。					
到達目標	年代別の時代背景、ファッショントレンド、流行色、ヘアメイクの特徴を理解し表現できるようになる。年代別の流行を知ることで自分の知識の幅が広がり、色々な年代のお客様対応ができるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■実技試験					
教科書				事前事後 学習と その内容	色々な時代の映画などに興味を持ち、その時代のトレンドを知る。	
教材	メイク道具一式					
特記事項	エプロン、名札を着用する。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	年代別メイク 2010年アイドルメイクデザイン	デザインシート記入。そのときの流行っていたもの、食べ物なども調べ、写真をコラージュ。
2	年代別メイク 2010年アイドルメイク	先週考えたメイクルックを実際に相モデルで施し、発表。
3	年代別メイク 1980年バブリーメイクデザイン	デザインシート記入。そのときの流行っていたもの、食べ物なども調べ、写真をコラージュ。
4	年代別メイク 1980年バブリーメイク	先週考えたメイクルックを実際に相モデルで施し、発表。
5	プリンセスメイク／グループ学習	ドレスを見に行く。イメージを固める。コンセプトを決め、実際にデザインしていく。
6	中間試験 模擬	模擬試験
7	中間試験	1～6週目までの確認
8	年代別メイク 1950年メイクデザイン	デザインシート記入。そのときの流行っていたもの、食べ物なども調べ、写真をコラージュ。
9	年代別メイク 1950年メイク	先週考えたメイクルックを実際に相モデルで施し、発表。
10	年代別メイク 1970年メイクデザイン	デザインシート記入。そのときの流行っていたもの、食べ物なども調べ、写真をコラージュ。
11	年代別メイク 1970年メイク	先週考えたメイクルックを実際に相モデルで施し、発表。
12	年代別メイク 2000年メイクデザイン	デザインシート記入。そのときの流行っていたもの、食べ物なども調べ、写真をコラージュ。
13	年代別メイク 2000年メイク	先週考えたメイクルックを実際に相モデルで施し、発表。
14	定期試験 模擬	模擬試験
15	定期試験	後期授業内容の確認

科目名 (英)	トータルビューティⅢ	年次	2	実務経験	担当	峯崎千恵美/株テーブルカンパニー (伊藤、吉村)
	TatalBeautyⅢ	授業形態	演習			
		時間数	120			
学科・専攻	メイクアップ科	単位	8	有	開講区分	後期
					曜日・時間	火曜日 1, 2限、金曜日3, 4限
講師紹介	(峯岸)国内外のエステサロンで勤務経験を積み、10年以上専門学校で指導してきた教員が美と健康、食の知識をお客様に提供するための方法を分かりやすく教える。バランスの摂れた食事とは具体的にどのようなものなのか理解できるようになってほしい。 (伊藤・吉村)幅広い現場でヘアメイクを担当している講師が現場で必要とされることも含めて分かりやすくレクチャーするので積極的に学んで欲しい					
目的 科目概要	目的:肌や身体のトラブル別の栄養アドバイスの知識を身につける。またボディトラブルに対するケア方法を学ぶ。 概要:栄養学、ボディゴマージュ、G5、サクション、低周波、ボディパックを行うための知識と技術を学ぶ。 テーマに合わせたコンセプト、トータルビューティの観点から作品制作をする力を養う					
到達目標	・5大栄養素についての理解があり、トラブル別に栄養素のアドバイスができる ・お客様の身体の状態に合わせたボディトリートメント内容を組み立てられる ・テーマに合わせて自分でヘアメイクのデザインを考えて、作品に落とし込むことができるようになる。プロカメラマンにより作品残すことを目的とする					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■実技試験 ■ 作品 □提出課題					
教科書				事前事後 学習と その内容	事前にコマシラバスを確認し、忘れ物をしない。 授業内容は必ず復習し、理解した上で次の授業に参加すること。	
教材	プリント適宜配布					
特記事項	配布資料はファイルにまとめ毎授業持参すること。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	科目の概要説明 栄養学 ボディゴマージュ	この授業の進め方 5大栄養素とは、糖質、脂質、タンパク質について ゴマージュの効果、禁忌事項、手順を理解する
2	栄養学 G5	ビタミン、ミネラルについて G5の効果、禁忌事項、注意事項、ヘッドの種類、手順を理解する
3	栄養学 サクション	食物繊維について、ダイエットに効果的な機能性成分 サクションの効果、禁忌事項、注意事項、リンパの知識、手順を理解する
4	栄養学 低周波	身体の不調と栄養素 低周波の効果、禁忌事項、注意事項、筋肉の部位と名称、手順を理解する
5	栄養学 ボディパック	肌トラブル別の栄養のアドバイス パックの効果、手順を理解し、均一に塗布し正確に除去する
6	栄養学 選択トリートメント	摂取カロリーと消費カロリーについて モデルに合わせて効果的な施術を行う
7	定期試験	1～6回までの授業の理解度を確認する
8	トータルコーディネート基礎	技術チェック・復習・次週の予習(コンセプトシートなどの記入)
9	靴から考えるトータルビューティー	靴から想像する人物像を考え、相モデルでヘアメイクを実施
10	爪から考えるトータルビューティー	爪から想像する人物像を考え、相モデルでヘアメイクを実施
11	人物像から考えるトータルビューティー	ひとりの人物像から想像するトータルビューティーを考え、ヘアメイクを実施
12	グループ制作準備(5～6チームに構成)	チーム決め・ヘア担当・メイク担当・モデル担当の配置を決める またチームでコンセプトをまとめる
13	作品制作	コンセプトを確認しながら、実際に担当に分かれて作品をテスト制作する
14	模擬制作	実際に本番と同じ作品を作り、グループで確認する
15	作品撮影グループ撮影	フォトグラファーによる作品撮り

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅳ Career Development Ⅳ	年次	2	実務経験	担当	福田 美幸
		授業形態	講義			
		時間数	30			
学科・専攻	メイクアップ科	単位	2	有	開講区分 曜日・時間	後期 火曜日 3限
講師紹介	ドレスコーディネーターとしてブライダル業界で勤務。業界経験を生かして、美容業界で必要とされるための知識、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。					
目的 科目概要	グループワークや個人ワークでの自己分析、チームで働くことの大切さを学び社会人基礎力に必要な3つの能力【前に踏み出す力】【考え抜く力】【チームで働く力】を身に付ける。またプロになるために必要な自己管理、身構え、気構え、心構えを身につける。					
到達目標	①自己発見を行い、希望就職先への内定に繋げる。 ②笑顔であいさつができるようになり、接客に必要な身構え・気構え・心構えを身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（ ）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	なし			事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。	
教材	スケジュール帳・筆記用具・iPad					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる（メモを取る習慣を身につけましょう）					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	グループワーク①	相手をよく知り、仲間とチームワークを高める。
2	社会人基礎力を身につける	社会人としての基礎知識を学ぶ。
3	社会人基礎力を身につける	5年後、10年後のビジョンについて考える
4	グループワークや個人ワークでの自己分析、チームで働くことの大切さを学び社会人基礎力に必要な3つの能力【前に踏み出す力】【考え抜く力】【チームで働く力】を身に付ける。またプロになるために必要な自己管理、身構え、気構え、心構えを身につける。	人前で報告する。
5	グループディスカッション	お互いの意見を尊重し、グループで意見をまとめる。
6	グループワーク②	グループワークを通しての気づきをまとめ、それを活かすためにどの様にしていくかを考える
7	中間試験	中間試験
8	社会人基礎力を身につける	社会人としてのマナーを身につける。（上座・下座）
9	社会人基礎力を身につける	社会人としてのマナーを身につける。（電話対応）
10	社会人基礎力を身につける	伝える力を学ぶ。
11	自分の強みについて考える	認知特性を使って自分の得意なことを知る。得意なことをどのように強みに変えていくかを考える。
12	グループワーク	想定した顧客のニーズを満たせる商品を話し合い、売るという軸からブレない力を身に付ける。
13	ストレスについて考える	ストレスを軽減するためにはどのような行動が必要かを考え、個人で考え、チームで共有する。
14	定期試験	定期試験
15	定期試験振り返り	14回で考えたことを全体で共有する。5年後、10年後のビジョンについて考える。

科目名 (英)	ブランド研究Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	やよい
	Brand ResearchⅢ	授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	メイクアップ科	単位	4	有	開講区分 曜日・時間	後期 水曜日 3、4限
講師紹介	10代からファッション研究。事務職やテレフォンオペレーター等で企業マナーや言葉遣いを学び、3児の育児のブランクを経て、アパレルの世界へ。雑貨、靴、傘、アクセサリ、デザイナーズブランド、アウトドアブランド、百貨店で販売等、多角的に経験を積み、現在は呉服の世界で販売指導をしている異色の経歴を生かした授業を用意しています。					
目的 科目概要	目的:様々なファッションブランドの特徴を学び、正しい情報を発信する力を身に着ける。					
到達目標	様々なファッションブランド研究を通して自分の個性、好みや強みを理解する。 お客様のニーズに合わせた提案やアドバイスを、自分らしく自信を持って発信出来る為に必要な正しい知識を身に着ける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■実技試験 □ 作品					
教科書	オリジナルテキスト、参考資料			事前事後 学習と その内容	色々なショップへ行って今日学んだことを意識して観察してみましょう。	
教材	適宜紹介します。					
特記事項	この授業ではiPadを使用します。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション	この授業の目的と、ファッションとはブランドとは何かその存在意義について考えよう。
2	自分の好きなブランドを調べる	自分の好みを理解しよう。ファッションブランドを通して今の時点での自分の事を知る。
3	ファッションの歴史	日本文化。着物から洋服へ。流れの中の今が在る事を理解する。
4	ファッションブランド研究①	ファッションブランドの起源を探ろう。
5	ファッションブランド研究②	海外ブランド。ブランドの仕組み。コンセプトや戦略を探る。
6	コラージュ	コラージュ制作
7	中間試験	中間試験
8	ファッションブランド研究③	日本ブランドの仕組みを探り知識を深める。
9	ファッションブランド研究④	日本ブランドの仕組みを探り知識を深める。
10	自分のブランドを作ろう①	コンセプトを決める。
11	自分のブランドを作ろう②	自分ブランドをまとめる総総力を身に着ける。
12	ファッションブランド研究⑤	ブランドを探り新しい知識を身に着ける。
13	コラージュ	コラージュ制作
14	これまでの総復習	まとめ。試験対策。
15	定期試験	

科目名 (英)	メイクアップ総論Ⅳ Make UpⅣ	年次	2	実務経験	担当	CAA (高岸、原口、福田、秋本)
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	メイクアップ科	単位	4	有	開講区分 曜日・時間	後期 木曜日 3, 4限
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。					
目的 科目概要	メイクアップの歴史や文化、トレンドについて学ぶことで、メイクアップの多様性を理解する。					
到達目標	メイクアップ総論の授業は、メイクアップアーティストとしての基礎知識や技術を学び、自分自身のスタイルを確立するための基盤となる授業です。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ☐ 筆記試験 ☒ 実技試験 ☐ 作品					
教科書	JESCテキスト 他 資料			事前事後 学習と その内容	実技授業の場合、授業前にメイクセッティングをして下さい。授業後は全員で消毒と清掃を行います。ブラシ・パフは毎回洗浄して下さい。	
教材	メイク道具一式					
特記事項	課題にてテーマ別のメイクアップ画像提出					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	デザインワーク・年代別説明	年代別メイクの説明。デザインシートにヘア・メイクイメージを作成する。技術チェック
2	1920年代ヘア&メイク デザイン	デザインシート・特徴的なメイクポイントを理解し実習する
3	1920年代ヘア&メイク イメージ	メイクアップ&ヘアセットでイメージを作成し撮影する
4	1930年代ヘア&メイク デザイン	デザインシート・特徴的なメイクポイントを理解し実習する
5	1930年代ヘア&メイク イメージ	メイクアップ&ヘアセットでイメージを作成し撮影する
6	中間試験対策	年代別ヘア&メイク 60分
7	中間試験	年代別ヘア&メイク 60分
8	1940年代ヘア&メイク デザイン	デザインシート・特徴的なメイクポイントを理解し実習する
9	1940年代ヘア&メイク イメージ	メイクアップ&ヘアセットでイメージを作成し撮影する
10	1950年代ヘア&メイク デザイン	デザインシート・特徴的なメイクポイントを理解し実習する
11	1950年代ヘア&メイク イメージ	メイクアップ&ヘアセットでイメージを作成し撮影する
12	1960年代ヘア&メイク デザイン	デザインシート・特徴的なメイクポイントを理解し実習する
13	1960年代ヘア&メイク イメージ	メイクアップ&ヘアセットでイメージを作成し撮影する
14	期末試験対策	年代別ヘア&メイク 60分
15	期末試験	年代別ヘア&メイク 60分

科目名 (英)	トレンドメイクⅢ Trend MakeupⅢ	年次	2	実務経験	担当	CAA (高岸、原口、福田、秋本)
		授業形態	講義			
		時間数	60			
学科・専攻	メイクアップ科	単位	4	有	開講区分 曜日・時間	後期 水曜日 1, 2限
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。					
目的 科目概要	トレンドメイクの授業では、最新のトレンドに沿ったメイクアップ技術やアイデアを習得し、高品質なトレンドメイクを創り出すことが目的です。 化粧品販売員検定シルバー 最新の化粧品学・皮膚理論・カウンセリングを学ぶ。					
到達目標	ファッショントレンドメイクやフォトジェニックメイクなど、多様な技術やスタイルに触れ、自分のスキルを高めることも重要です。メイクアップアーティストとして活躍するために必要な技術やスキルを磨き、自分の個性を発揮することが求められます。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C（2.0）、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（ ）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■実技試験 □ 作品 □提出課題					
教科書	CAAメイクアップカラーアドバイザー公式テキスト			事前事後 学習と その内容	実技授業の場合、授業前にメイクセッティングをして下さい。授業後は全員で消毒と清掃を行います。ブラシ・パフは毎回洗浄して下さい。	
教材						
特記事項	課題にてテーマ別のメイクアップ画像提出					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	化粧品販売員検定シルバー:化粧品学①	化粧品とは、薬機法、効能効果、薬用化粧品、構成成分の理解と説明ができる。
2	化粧品販売員検定シルバー:化粧品学②	全成分表示、美容成分、メラニンのメカニズム、美白成分、薬用化粧品の有効成分、品質向上、安定化成分の理解と説明ができる。成分解説ができる。
3	化粧品販売員検定シルバー:皮膚科学①	皮膚とは、表皮・真皮、皮膚付属器官の理解と説明ができる
4	化粧品販売員検定シルバー:皮膚科学②	爪、まつ毛、皮下組織、役割、季節と肌までの理解と説明ができる。
5	化粧品販売員検定シルバー:スキンケアカウンセリング	スキントypes、皮膚のトラブル、スキンケアカウンセリングまでの理解と説明ができる。
6	化粧品販売員検定シルバー中間試験対策	ブロンズ模擬テスト 8割以上の正解
7	化粧品販売員検定シルバー中間試験	化粧品販売員検定シルバー中間試験
8	ファッショントレンドメイク①	①色彩学 4シーズンカラー スプリングの特徴を理解しメイクを習得する。
9	ファッショントレンドメイク②	②色彩学 4シーズンカラー サマーの特徴を理解しメイクを習得する。
10	ファッショントレンドメイク③	③色彩学 4シーズンカラー オータムの特徴を理解しメイクを習得する。
11	ファッショントレンドメイク④	④色彩学 4シーズンカラー ウィンターの特徴を理解しメイクを習得する。
12	ビューティトレンドメイク	美容トレンドに合わせたメイクアップ技術、アイデア、色彩感覚を習得する。
13	フォトジェニックメイク	写真映えするメイクアップ技術、アイデア、色彩感覚の習得を目的とした科目です。
14	期末試験対策:4シーズンカラー	ファッショントレンドに合わせたメイクを練習する。
15	期末試験:4シーズンカラー	実技試験: パーソナルカラーで40分フルメイク

科目名 (英)	スキンケアアカウンセリングⅢ (アロマ検定対策) Skin care CounselingⅢ	年次	2	実務経験	担当	伊藤葉子・峯崎千恵美
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	メイクアップ科	単位	4	有	開講区分	後期
					曜日・時間	1～7週 月曜日 3, 4限、8～15週 1, 2限
講師紹介	(伊藤) AEAJアロマセラピーインストラクター/アロマセラピーセラピスト、AEA認定講師、Ajesthe認定講師などの資格を有し、エステティック教育に20年以上尽力してきた講師が、アロマセラピーに必要な知識と技術をわかりやすく丁寧に講義する。 (峯崎) 国内外のエステサロンで勤務経験を積み、10年以上専門学校で指導してきた教員が、2年間の総まとめとしてフェイシャルとボディのトータルエステ技術を教える。これまでの知識を総合して、結果を出せるトリートメントを自信を持って行ってほしい。					
目的 科目概要	目的: (AEAJ)アロマ環境協会アロマセラピー検定合格に必要な知識と技術および、お客様にトータルフェイシャルケア、ボディケアを行うための知識と技術を学ぶ。 概要: アロマセラピーを正しく行うために必要な知識を幅広く学び、資格取得のための知識を習得する。具体的には、精油の知識と取扱い方、身体への影響、美容と健康、アロマセラピーの歴史、関連法規、アロマセラピーを利用したトリートメント法やクラフト作りおよび、カウンセリング、施術の選択、ディープクレンジング、機器トリートメント、マッサージ、パックを行うための理論と技術を学ぶ。					
到達目標	(AEAJ)アロマ環境協会アロマ検定1級・2級合格に必要な知識と技術を習得する。 また、お客様の身体を観察し、お悩みに合わせたコースの選択と正確な説明ができる トリートメントの内容を十分理解して結果を出せる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■実技試験 □ 作品 □提出課題					
教科書	アロマセラピー検定公式テキスト			事前事後 学習と その内容	・毎回の授業後ノートの清書をし、資料をファイリングする。(20分) ・授業前日までにテキストを用意し内容を確認する。(10分) ・授業内容は必ず復習し、理解した上で次の授業に参加すること。	
教材	プリント適宜配布/筆記用具持参					
特記事項	必要な内容はメモを取ること。基本的に無断での写真撮影、動画撮影を禁止する。必要な場合は許可を得ること。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	アロマセラピーの基本	アロマセラピーの定義を理解し、精油の抽出方法と作用、安全な使用方法を学ぶ。 /芳香浴法の実践:実際に精油ビンを取り扱い芳香浴を行う。
2	アロマセラピーのメカニズム	精油成分がどのように人体に入るか経路を学び、皮膚と心身への作用を理解する。 /吸入法の実践:嗅覚器からの吸収を行い心身への作用を体感する。
3	美容と健康法①	美容と健康に重要なストレスと睡眠について学び、アロマセラピーがどのように作用するのか理解する。 /アロマクラフト作製:精油を嗅ぎ分け、アロマピローを作製する。
4	美容と健康法②	女性のライフステージとホルモンの関係を学び、アロマセラピーの作用を理解する。 スキンタッチの効果とスキンケアの目的を再確認する。 /アロマクラフト作製:女性特有の症状に合わせてアロマオイルを作製する。
5	アロマセラピーの歴史	アロマセラピーの歴史を古代から中世、近代、現代と順に学び、精油がどのように扱われ、ハーバリストやアロマセラピストがどのように活躍したのかを知る。 /アロマクラフト作製:オーデコロン「ケルンの水」を作製する。
6	アロマセラピーに関する法律	アロマセラピーを実践するうえでトラブルにならないための法律について理解する。 /アロマクラフト作製:精油の作用を理解し目的に合わせたアロマコスメを作製する。
7	中間試験	アロマ検定に対応した定期試験を実施する。
8	クレンジング、スキンチェック フェイシャル機器	手際よく正確にクレンジングを行う モデルに適したフェイシャル機器を選択し効果的な施術を行う
9	スキンチェック、フェイシャル機器 マッサージ	モデルに適したフェイシャル機器を選択し効果的な施術を行う 筋肉の走行を意識し、リズムカルにマッサージを行う
10	フェイシャルカウンセリング 選択トリートメント	モデルのフェイシャルカウンセリングをし、効果的な施術を行う
11	スキンチェック、ボディ機器 ボディマッサージ	モデルに適したボディ機器を選択し効果的な施術を行う ボディマッサージをスムーズに行う
12	スキンチェック、ボディ機器 ボディマッサージ	モデルに適したボディ機器を選択し効果的な施術を行う ボディマッサージをスムーズに行う
13	ボディカウンセリング 選択トリートメント	モデルのボディカウンセリングをし、効果的な施術を行う
14	ボディカウンセリング 選択トリートメント	モデルのボディカウンセリングをし、効果的な施術を行う
15	定期試験	8から14回までの授業の理解度を確認する

科目名 (英)	ファッション総合Ⅳ FashionⅣ	年次	2	実務経験	担当	いさむちゃん
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	メイクアップ科	単位	4	有	開講区分 曜日・時間	後期 木曜日 1, 2限
講師紹介	キッズモデルからモデルキャリアスタート、後に国内海外ブランドで働いてまた2013年からスタイリストとして活動中、雑誌やCMに舞台など衣装を幅広くやっています。またモデル育成やウォーキング講師なども行なっている。					
目的 科目概要	ファッションをトータルにプロデュース出来るようになる。					
到達目標	セルフコーディネートスキルアップまたショップのディスプレイに加えてSNSでの企画やプレゼンテーションスキルを身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A（4.0）、89点～80点B（3.0）、79点～70点C(2.0)、69点～60点D（1.0）、59点以下を不合格とする。（ ）は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験 ■実技試験 □ 作品 □提出課題					
教科書				事前事後 学習と その内容	感性とプレゼンテーションスキルまたディスカッションスキルを学ぶために毎授業の時ドレスコードを設けてプレゼンテーションしてもらいます。	
教材	タブレット 各自のメイク道具					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	ファッション総合について	今後の授業の流れ及びルールなど確認またプレゼンテーションスキルチェック
2	ファッショントレンド&リサーチ①	トレンドはどこからやって来るのか、リサーチの仕方など
3	ファッショントレンド&リサーチ②	リサーチ方法の研究
4	VMD①	お店のディスプレイ方法またマネキンのコーディネートを学ぶ
5	VMD②	お店のレイアウトYA什器の名称などを学ぶ
6	試験準備	中間試験に向けて振り返りとブラッシュアップ
7	中間試験	中間試験
8	SNSマーケティング①	SNSでマーケティング方法を学ぶ
9	SNSマーケティング②	画像編集や動画編集の方法を学ぶ
10	SNSマーケティング③	実際にクリエーションをしてみる
11	パーソナルスタイリング①	セルフコーディネートを学ぶ
12	パーソナルスタイリング②	トレンドを意識したスタイリングをする
13	パーソナルスタリング③	自分の苦手なスタイリングを得意にする
14	試験準備	定期試験に向けて振り返りとブラッシュアップ
15	定期試験	定期試験